

瑞牆山山行報告

【山行日】2022年 10月 30(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 2,900円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬

飯口、石澤、小林、嶋田、鈴木ナ、福島

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=みずがき自然公園 P6:35/6:55~カンマンボロン 8:00/8:20

~瑞牆山 9:55/10:15~弘法岩分岐 10:30~

不動滝 11:40/12:10~林道終点 12:50~

芝生広場分岐 12:50~みずがき自然公園

P13:10/13:30=岩舟支所 P17:05



山行アンケートで瑞牆山のリクエストがあり、今回は以前より登って見たかったカンマンボロンの



コースを計画した。このコースは一般的な地図には載っていないルートで、ルートファインディングが求められるコースである。岩舟支所を4時に出発し、北関東道から上信越道、中部横断自動車道の無料区間を走り、八千穂高原 IC で降りる。ここから国道141号線を進み、県道610号線から釜瀬林道を走ってみずがき自然公園の駐車場に車を止める。広い駐車場は半分くらい車が止められており、この時間ではまだまだ余裕があった。トイレは上の駐車場にあり、階段を登ってトイレを済ませる。ストレッチを行なったら出発し、車で来た道を少し戻り「瑞牆の森案内板」の所に入るが、案内板は倒れていた。はっきりした踏み跡があり、最初の二俣は右に進む。カラマツ林の中を緩やかに登り、やがて沢沿いに進むと紅葉が見頃で「ウワ~綺麗」と歓声が上がる。段々と傾斜がきつくな

り踏み跡が解りにくくなるが、赤テープやペンキマークを見落とさないように慎重に進む。古い案内プレートも残っており、それらを頼りにグングン高度を上げて行く。しばらく登ると大きな岩に赤ペンキで、カンマンボロンの「カ」の字と上に向かう矢印があり上に登って行く。踏み跡がハッキリしている左に向かうと間違いで、戻って右に登るとカンマンボロンの取り付に出る。先客が4名いて「狭いので4人くらいしか登れないので待つ



てくれ」と言われ降りるのを待つ。降りてきたら交代で4人づつ登り、狭い岩の間をすり抜けてカンマンボロンの下に出た。垂直に切り立った岩に梵語のような文字が刻まれていた。

これです、これを見るために頑張って登りました。皆さんもカンマンボロンの梵語を見て、大満足の



の様子だった。ここから取り付に戻り、瑞牆山山頂を目指す
が、大変なのはここからの登りだった。急な岩場をクサリ
やロープで何箇所も越えて行き、踏み跡も薄くルートを確認
しながら登る。時折案内プレートがあり、これを確認する
と一安心。ようやく大ヤスリ岩の基部に出て、岩の隙間
を通過してしばらく行くと、進入禁止のロープをまたぎ一般
ルートと合流する。ここからは登山者が多くなり、次々に登
山者が登ってくる。小休止して水分を補給し、大ヤスリ岩を
バックに記念写真を撮ったら山頂を目指す。大勢の登山
者と一緒に岩の登山道を登って行くが、段差が大きく登る
のに苦勞する。クサリやロープが無いので、木や岩に掴ま
りながら腕力を使って登る。小さな岩の狭間にたどり着くと
平坦になり、北側に回り込むように進んで岩場をクサリで
登り、ほんの少し登ると瑞牆山山頂に着く。大きな花崗岩

の一枚岩の山頂は素晴らしく、富士山やハケ
岳、金峰山等々の大パノラマが広がっている。
初めての皆さんは大感動で、素晴らしい景色
をスマホで撮りまくっていた。落ち着いたら記
念写真を撮り、岩場に腰かけておやつタイムと
する。絶景を楽しみながらナシや菓子をいた
だき、皆さんの笑顔が弾けていた。
展望を十分楽しんだら下山開始する。
下山は往路を少し戻り、右にみずがき自然公
園の標識に従って降りて行く。針葉樹林帯の
中に付けられた急坂を下って行くと、次々に登山者が登ってくる。次々と巨岩、奇岩が現れそれぞ



れに名前が付いていて、楽しく下って行く。
小沢を渡り平坦な道になると明るく開け、不動
滝の広場に着く。滝の水量は少ないが、大き
な花崗岩の一枚岩を流れる滝は見事である。
ベンチがいくつも置かれており、それぞれ分
かれて座りランチタイムとする。お湯を沸かし
てカップ麺やスープを作り、滝を見ながら美味
しくいただいた。ここからは沢沿いに下って行
き、何箇所か橋を渡って右岸、左岸と渡りなが
ら気持ちよく下って行く。やがて広い林道を下
るようになり、林道終点広場には車が沢山止



まっていた。この先で分岐になり、左の広い道を登って行く。紅葉が丁度見頃で、紅葉を楽しみなが
らのんびり歩き、少し下るとみずがき山自然公園に着いた。トイレを済ませ、後ろを振り返ると瑞牆

山が素晴らしい。瑞牆山をバックに記念写真を撮り駐車場に戻った。驚いたことに駐車場は満車で、道路にも列をなして止められていた。靴を履き替えたら帰路につき、往路に戻る。上信越道横川SAに寄り、トイレと買い物を済ませ予定より早く岩舟支所に帰着した。

